

上海で話題のカフェチェーン

上海駐在員事務所

秘書 張弦

最近上海でとても話題になっているカフェチェーンがあります。それは「85度C」です。「85度C」は台湾系のパン屋で、台湾ではすでに350店舗を展開しており、2003年の創業以来、猛スピードで成長したカフェチェーンです。上海では2007年12月に第1号店がオープンして以来、1年間で上海市内に30店舗展開し、着実に上海の人々を魅了しています。

上海には「スターバックスコーヒー」などの外国ブランドカフェのほか、たくさんの中国ブランドカフェがあります。それでは何故「85度C」が上海市民の間でブームとなり、ここまで急成長できたのでしょうか。その鍵について考えてみたいと思います。

第一に、庶民的な価格と豊富な品揃えが挙げられます。「85度C」ではコーヒーが一杯8元(約120円)、チーズケーキが1個10元(約150円)に設定されており、大手チェーン店と比べると約半額の価格帯となっています。また品揃えについても、コーヒーやケーキ以外にもパンの種類も充実しており、豊富なメニューから商品を選ぶことが好きな中国人の性格にもマッチしています。

第二に、お洒落な店内です。人目を引く大きな看板と綺麗で広い店内スペースが「85度C」の特徴です。店内を見回してみると、照明はとても明るく、床は大理石調で高級感も感じられます。テーブルの数は決して多くはありませんが、ゆっくりとくつろげる空間が確保されています。

最後に、24時間営業と宅配サービスです。一般のパン屋やカフェの多くは遅くとも夜10時には閉店しますが、「85度C」は24時間営業です。また、宅配サービスも行っており、30元(約450円)以上注文すれば、24時間電話1本で自宅まで無料で届けてくれます。これらのサービスにより、お年寄りや忙しい主婦だけではなく、帰りの遅いサラリーマンなど幅広いターゲットを捉えることに成功しています。

ここ上海では、カフェの人気の高まっていることから、喫茶スペースを併設するお店が増えてきました。また、外資系の大手ドーナツチェーンも積極的に進出を開始しており、今後ますます競争が激化していくものと思われます。

上海万博のテーマは「Better City, Better Life(より良い都市、より良い生活)」。上海の人々は新しいお店を心待ちにしています。



(写真上：人目を引く看板、左下：配達用自転車、右下：豊富な品揃えのパン)